

この世知辛い世の中であっても、親切な人が居た！

家内の友人が車で遊びに来たので、我が家の車で季節料理のランチを摂りに小1時間かけて高速を走り、ランチ後更に足を伸ばして冬の海辺を散策に行ってきた。

帰宅して、車から友人が降りる時に手提げ鞆のないことに気づき、友人、家内共、動転、狼狽。

友人は、その中に財布、運転免許証等が入っていたようなのでなおのこと。免許証がなければ、友人は車で帰宅もままならず…。

どこに置き忘れたのか、あれこれ思案して、海辺の散策路の公衆トイレでないかと思いついた。

まずは警察に電話し、近くの交番に連絡してくれて警官が探しに行ってくれるかと期待したが、「誰か見つけて届け出があれば、連絡します。」とのつれない返事。

ふと、散策路から少し離れた所にレストラン（屋号は記憶になし）があったことを思い出して、電話番号通知サービスに電話してあれこれ事情と場所を話すと、その店の電話番号を探し出して教えてくれた。

その店に電話すると、早速に「見てくるから」とのこと。恐らく走って探しに行ってくれたのだろうか、間もなく息せき切った呼吸の中で「ありました！」との電話。

海辺からの帰途は高速でなく、途中遠回りしたドライブで、この間は約2時間。

冬の海辺のトイレだけに、この長時間でも利用する人がいなかったのも幸いしたのだろうか。

直ぐに警察にも見つかったことを伝え、早速、再び黄昏の高速を走り、店に受け取りに行ってきた。

それにしても世知辛い世の風潮の中で、見も知らない初めての人からの電話だけの話に、少ない手がかりの中で店の電話番号を探してくれた受付担当者といい、我が事のように走ってくれた店の方といい、親切な方がまだまだいることを知ることに出来た一日だった。

友人のご主人からも後刻お礼のメールが入ったので、「お互いに、色々ある年頃(^o^)
無事、見つかって本当に良かったですね。世の中、まだまだ親切な人が居る事を確認できた素敵な日でもありました。」と返信した。

事なきを得たのは、我々3人の日頃の行いが良いのをお天道様は見ている、今回は手提げ鞆を見守ってくれていたのかもね(^_-)